

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

フタル酸ジ-2-エチルヘキシルのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する
延長毒性試験－14日間

試験番号

6 B 7 3 6 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.204「魚類延長毒性試験－14日間」
(1984年) に準拠して実施した。

- 1)被験物質： フタル酸ジ-2-エチルヘキシル
- 2)暴露方式： 流水式 (定量ポンプを用いる連続希釈装置を使用)
- 3)供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4)暴露期間： 14日間
- 5)試験濃度 (設定値)： 対照区, 助剤対照区, 4.90, 11.0, 22.0および49.0mg/L
(公比: 2.2) 助剤: HCO-30使用, 濃度一定, 98mg/L
- 6)試験液量： 32L/日 (22.55mL/min, 5.0L容ガラスビーカー使用)
- 7)連数： 1 容器/濃度区
- 8)供試生物数： 10尾/濃度区
- 9)照明： 16時間明/8時間暗
- 10)試験温度： 24±2℃
- 11)試験液の分析： HPLC法

結 果

- 1)試験液中の被験物質濃度：測定濃度の設定濃度に対する割合はすべての濃度区において
±20%以内であった。したがって、結果の算出は設定濃度に基づいて行った。
- 2)14日間の最小致死濃度： >49.0mg/L
- 3)14日間の最小作用濃度： 49.0mg/L

- 4) 14日間の最大無作用濃度 (NOEC) : 22.0mg/L
- 5) 7日間の半数致死濃度 (LC50) : >49.0mg/L
- 6) 14日間の半数致死濃度 (LC50) : >49.0mg/L